



全16時間実施した附属中学校での予防教育も無事終わりました。効果評価の結果もよく、一息ついているところです。生徒のみなさんといっしょに、楽しく、有意義な時間を過ごすことができました。授業の醍醐味を味わったようにも感じます。

授業が順調に開発・実施されている今、次の重要課題は、この教育を学校の先生がたに実施していただくことです。まずは、そのリーダーとなっていただく先生がた（トップ・セルフTSリーダー）にご活躍していただきたいと願っています。

予防教育科学 教育研究センター 所長 山崎 勝之

2月10日(金)から鳴門教育大学附属中学校で1年生を対象に「向社会性の育成」の授業が始まりました。生徒のみなさんは、授業を通して「人の立場に立つことで、その気持ちを感じ、人を助けたり手伝ったりできる」ようになることを目指します。



音楽の神 ガンデルヴァ
(向社会性の育成から)

予防教育科学 教育研究センターのIP>フレットが完成しました。子どもから大人まで楽しめるパンフレットが完成しました。本センターの活動も分かりやすくまとめられています。パンフレットはHPに掲載しております。ぜひ一度、ご覧ください。



1月28日(土) 第2回「学校予防教育」推進協議会が開催されました。

今回はまず、センターが進める教育の実施状況や来年度の実施予定について報告しました。その後、教育を実施していただく先生がたをどのように募集し、研修していただくかについて討議しました。今回も有意義な協議会となり、ご参加の先生がたには心より感謝申し上げます。



3月末 予防教育科学に基づく「新しい学校予防教育」(書籍&報告書)が刊行されます。

トップ・セルフの理論について、詳しく書かれている書籍がいよいよ刊行されます。詳細は、後日お知らせします。



IP>フレット



ゼルバスト
(向社会性の育成から)

